立命館大学経営学部校友会
第 12 回　総　会

2016 年 6 月 25 日（土）

於　立命館大学　衣笠キャンパス

立命館大学経営学部校友会
ホームページ　http://www.ritsumei.ac.jp/acd/cg/ba/
E-mail：info@ritsba-kouyukai.jp

立命館大学経営学部校友会 第12回総会 次第

開会の辞

１．経営学部校友会長挨拶

２．経営学部長挨拶

３．議長選任

４．2015年度 事業報告 （資料１）

５．2015年度 収支報告 （資料２・３）

６．監査報告 （資料４）

７．2016-2017年度 役員体制について(案) （資料５）

８．2016年度 活動方針(案) （資料６・７）

９．2016年度 予算(案) （資料８）

１０．2016年度 支援事業および審査委員(案) （資料９）

１１．議長解任

閉会の辞

【参考】

１．立命館大学経営学部校友会『ゼミ・クラス同窓会開催援助制度』について
２．立命館大学経営学部校友会『外国語講座受講料補助』について
３．立命館大学経営学部校友会『公認会計士試験合格奨励制度』について
４．立命館大学経営学部校友会『国外研究活動奨励助成』について
５．立命館大学経営学部校友会『出版（研究叢書刊行）助成』について
６．立命館大学経営学部校友会規約

2015 年度経営学部校友会事業報告（2015.4.1～2016.3.31）

Ⅰ.【経営学部校友会総会・講演会】

2015 年 6 月 27 日（土）
立命館大学大阪いばらきキャンパス（OIC）

第 11 回 経営学部校友会 総会　　（出席 48 名）

講演会（参加 91 名）

テーマ：「私の半生」
講　師：山中（ヤマナカ）　諄（マコト）氏（南海電気鉄道株式会社取締役会長兼 CEO　1965 年経済学部卒）

＊参考　**常任幹事会**　2015 年 5 月 14 日（木）　（ホテルグランヴィア京都）
幹事会　2015 年 6 月 27 日（土）　（立命館大学大阪いばらきキャンパス）
臨時常任幹事会　2015 年 12 月 1 日（火）　（新・都ホテル）

Ⅱ.【経営学振興事業】

■第 1 回セミナー　　於：京都ガーデンパレス（参加 54 名）
開催日：2015 年 8 月 29 日（土）
テーマ：「　最強のホスピタリティ集団創造への挑戦 !!
～『楽しくなければやったところで知れたもの』
から始まった試行錯誤の組織創り～　」
講　師：小岸（コギシ）　弘和（ヒロカズ）氏
（株式会社プラネットワーク代表取締役社長　1986 年経営学部卒）

■第 2 回セミナー
於：立命館大学大阪いばらきキャンパス（参加 150 名）
開催日：2015 年 10 月 11 日（日）
テーマ：「ビジネスマンのための『幸福論』
講　師：江上（エガミ）　剛（ゴウ）氏（作家）

■第３回セミナー　　於：東京ガーデンパレス（参加 28 名）
開催日：2015 年２月 13 日（土）
テーマ：「フードビジネスが日本を元気にする～外食産業の現状とこれから～」
講師：河原（カワハラ）　庸仁（ツネヒト）氏（株式会社Ｔ＆Ｋ Management systems 代表取締役 1988 年経営学部卒）

Ⅲ.【経営学振興事業だより ACROSS】

◆ACROSS 第 33 号発行　2015（平成 27）年 11 月
インタビュー「きもの文化」を基軸に
「ふるさと萩」再生に取り組む
関　伸久氏
（株式会社キモノレゾンデートル代表取締役）
（1996 年経営学部卒）

◆ACROSS 速報版　第 77 号発行
2015 年度講演会 講師：山中　諄氏

◆ACROSS 速報版　第 78 号発行
第１回セミナー　講師：小岸 弘和氏

◆ACROSS 速報版　第 79 号発行
第２回セミナー　講師：江上 剛氏

◆ACROSS 速報版　第 80 号発行
第３回セミナー　講師：河原 庸仁氏

Ⅳ.【ゼミ同窓会開催】　46 件

経営学研究会OB会(全体会)　2015/5/23

服部ゼミ同窓会　2015/5/13
昭和37年入学　Gクラス同窓会　2015/5/17
伊奈ゼミ　2015/5/23
渡辺峻ゼミ同窓会　2015/5/25
経営学部　Lクラス　2015/5/30
松村ゼミOBOG会　交流会　2015/6/5
経営学研究会　S41卒OB会　2015/6/26
守ゼミOBOG会　関西部会　2015/6/27
田中力同窓会　2015/8/1
徳田ゼミ(2003年度卒業)1回目　2015/8/11
渡辺峻ゼミ同窓会　2015/8/29
秋本育夫ゼミ(昭和49年卒)　2015/9/12
兵藤ゼミ　9期生同窓会　2015/9/22
種子田ゼミ　1997年卒業　2015/9/23
平井孝治ゼミ(2007年3月卒)　2015/9/26
荒川ゼミ同窓会　2015/10/3
吉田満梨ゼミ同窓会　2015/10/3
経営学会学生委員会　同窓会　2015/10/10
徳田ゼミ(5期生)同窓会　2015/10/10
齋藤雅通ゼミ(2006年度卒業)同窓会　2015/10/11
1968年入学　Kクラス同窓会　2015/10/24
1回生西野ゼミ(48年卒)同窓会　2015/10/24
近藤文男ゼミ同窓会　2015/11/14
経営学部　Kクラス(昭和47年度卒)同窓会　2015/11/19
証券研究会OB会　2015/11/21
種子田ゼミ同窓会(1998年度卒業)　2015/11/29

吉田満梨ゼミ(2014 年度卒業)同窓会　2015/12/5

中村志保ゼミOBOG会　2015/12/19
田中照純ゼミ(1994年卒)同窓会　2015/12/20
八重樫ゼミ同窓会　2015/12/27
徳田ゼミ(2003年度卒業)2 回目　2015/12/29
松浦総一ゼミ(2011年度卒業)同窓会　2016/1/11
1991年入学　Nクラス同窓会　2016/1/23

島田幸司ゼミ　2015/11/07

2015 年 11 月 7 日に第 8 回島田ゼミ同窓会を開催しました。
毎年恒例のこの会は、幹事を代々持ち回りで担当しており、今回は幹事担当の 5 期生が東海エリア在住の人が多いこともあり、初の名古屋での開催に至りました。
東北から九州まで、遠方から多くの方々が集まり、1 期生から 8 期生の卒業生総勢約 30 名が島田先生を囲みました。互いの近況を報告し合い、ゼミでの思い出話に花を咲かせ、島田先生に纏わるクイズ企画を交える等、大いに盛り上がりました。また、今回は参加出来なかった方に少しでも同窓会の雰囲気を味わってもらうため、YouTube を用いて限定の LiVE 配信を行い、より多くの方々と楽しいひと時を過ごすことができました。
最後になりましたが、ご援助いただきました経営学部校友会に大変感謝申し上げます。ありがとうございました。

奥村陽一ゼミ同窓会　2016/1/31
S43 年入学　Bクラス同窓会(前島先生)　2016/2/1
石崎・福本ゼミOB・OG合同同窓会　2016/2/6
松村ゼミOBOG交流会　2016/2/13
守ゼミ同窓会(2008～2014 卒)　2016/2/26
兵藤ゼミ同窓会(2007年度以降卒業生)　2016/2/27
秋本育夫ゼミ同窓会(S49 卒)　2016/3/12
星野ゼミOB会(S44年度卒業)　2016/3/13
会計学研究会OB会　2016/3/13
社会人学生同窓会　2016/3/13
ラウパッハゼミ同窓会(2015年度卒)　2016/3/26

Ⅴ.【立命館大学経営学部校友会寄附講座「特殊講義（キャリア形成論）」の開講】

コーディネーター：海老原 嗣生氏　　担当教員：石崎 祥之教授

≪2015 年度受講者　８９名≫

テーマ　１．雇用を取り巻く情勢とキャリア形成の意義

２．キャリア形成を考える

３．長期的なキャリア形成型企業の例としてのメーカー（Ⅰ）

佐野友則氏（トヨタ自動車株式会社　東京総務部　人事室）

４．長期的なキャリア形成型企業の例としてのメーカー（Ⅱ）

小路浩之氏（パナソニック株式会社　エコソリューションズ社　人事センター）

５．営業力重視型企業の例

中川達宏氏（株式会社リクルートキャリア　第一営業部 IT 事業部 RA マネジャー）

６．グローバル化する企業の人事戦略

田辺信裕氏（株式会社ファースト・リテイリング　人事部　人事チームリーダー）

７．経営者になるということ

上野太郎氏（日本盛株式会社　取締役営業本部副本部長）

８．ライフ・ワーク・バランスを考える

塩濱久美香氏（株式会社高島屋　人事部　能力開発・採用担当）

９．急成長企業で働くということ

川部高志氏（株式会社エスクリ　ＨＲ戦略部マネージャー）

納谷麻子氏、小野寺愛美氏（株式会社バイク王＆カンパニー　コミュニケート部門）

10．専門職になるということ

竹山まゆみ氏（元テレビ広島アナウンサー　現フリーアナウンサー）

11．テーマパークで働くということ

筒井さやか氏（株式会社ユー・エス・ジェイ　オペレーション本部フードサービス課）

12．転職に挑戦するということ

小沢　拓己氏（グーグル株式会社　広告営業本部　広告代理店営業マネージャー）

13．マスコミで働くということ

小室浩幸氏（株式会社朝日新聞　仙台総局　東北復興取材センター次長）

14．ゲスト企業の特徴とまとめ

15．長期的な視野にたってキャリアを形成するということ

Ⅵ.【経営学部校友会 Facebook の新規開設】

Ⅶ.【在学生・大学院生支援】

＜各種外国語講座受講料補助＞

補助対象者 16 名

・TOEFL® 講座（基礎：ITP 対策）　8 名

TOEIC®スコア平均　３８５→４８９

TOEFL®スコア平均　４４０→４８４

・TOEFL® 講座（応用：iBT 対策）　7 名

TOEIC®スコア平均　６４９→７２８

TOEFL®スコア平均　４３７→４９２

・ドイツ語会話講座　1 名

＜公認会計士合格奨励制度＞

経営学部生　4 名（全員 2015 年度４回生）

小野田　隼也　＜有限責任（監法）トーマツ＞

杉本　浩大　＜有限責任あずさ（監法）＞

仲野　弘剛　＜有限責任あずさ（監法）＞

堀内　大也　＜新日本有限責任（監法）＞

以上

【経営学部校友会】　2015年度収支報告

（2015年4月1日～2016年3月31日）

＜収入の部＞　（円）

科目	15年度執行額	15年度予算	執行率	14年度執行額	備考
会費収入	8,260,000	8,190,000	100.9%	8,030,000	
2015年3月卒業生	7,890,000	7,890,000	100.0%	7,760,000	10,000×789人
既卒者新規入会	370,000	300,000	123.3%	270,000	10,000×37人
事業収入	246,000	300,000	82.0%	264,000	
セミナー等懇親会	246,000	300,000	82.0%	264,000	懇親交流会参加費（3回分）
利息収入	18,361	15,000	122.4%	18,947	預金利息
雑収入	0	1,000	0.0%	0	
単年度小計	8,524,361	8,506,000	100.2%	8,312,947	（※1）
前年度繰越金	14,723,000	14,723,000		13,075,803	
合計	23,247,361	23,229,000	100.1%	21,388,750	

＜支出の部＞　（円）

科目	15年度執行額	15年度予算	執行率	14年度執行額	備考
校友会事業費	2,109,800	2,900,000	72.8%	1,747,000	
ゼミ同窓会開催支援	1,655,000	1,600,000	103.4%	1,437,000	ゼミ、クラス同窓会開催補助46件
各種外国語講座受講料補助	254,800	200,000	127.4%	60,000	各種講座受講料16件、繰越分1件
公認会計士試験合格奨励	200,000	500,000	40.0%	250,000	公認会計士合格奨励4件
国外研究活動補助	0	300,000	0.0%	0	
出版助成	0	300,000	0.0%	0	
産学連携推進費	0	0	0.0%	0	
セミナー・総会開催費	4,139,634	4,212,000	98.3%	3,347,847	
講師謝金	379,685	280,000	135.6%	208,507	講師謝礼
人件費	36,691	1,000	3,669.1%	0	キャンパスツアー学生ナビゲーター
会場使用料（会場費）	41,963	400,000	10.5%	1,295,451	セミナー・懇親会場使用料
（懇親会費用）	836,958	1,000,000	83.7%		講演会、セミナー懇親会費用
印刷費	589,165	400,000	147.3%	0	総会・セミナー案内、総会資料等
郵送費	2,029,982	2,000,000	101.5%	1,756,689	総会・セミナー案内、総会資料、ACROSS送付（含「りつめい」2回同封分）
運搬費	5,808	20,000	29.0%	21,470	セミナーパソコン等備品送料
交通費	193,330	100,000	193.3%	65,730	事務局要員交通費等（東京セミナー出張費等）
会議費	26,052	10,000	260.5%	0	幹事会、講師との打合せ
消耗品費	0	1,000	0.0%	0	
ACROSS発行費	1,314,667	1,682,000	78.2%	705,510	
印刷費	1,231,189	1,600,000	76.9%	680,400	32,33号印刷費（32号は2014年度末発行）
委託費	32,670	70,000	46.7%	25,110	インタビューテープ起こし（33号）
会議費	4,848	1,000	4.8%	0	インタビュー時の会食代等
交通費	43,020	10,000	4.3%	0	33号ゲストへのインタビュー
人件費	0	0	0.0%	0	
その他	2,940	1,000		0	インタビュー時の手土産代

科目	15年度執行額	15年度予算	執行率	14年度執行額	備考
事務局費	715,533	565,000	126.6%	564,259	
事務局人件費	0	1,000	0.0%	0	
郵送費	59,531	10,000	595.3%	21,960	役員等に対する各企画、会議案内（一部セミナー案内含む）
印刷費	481,680	500,000	96.3%	443,178	校友会名入り封筒
事務消耗品費	60,334	10,000	603.3%	39,870	セミナー開催案内印刷用紙、住所シール、事務局用パソコンソフト他
交通費	0	1,000	0.0%	0	
雑費	62,904	2,000	3,145.2%	27,283	校友会配布用記念品（ペン）作成、残高証明書発行料金等
振込手数料	51,084	40,000	127.7%	31,968	支払時の振込手数料
その他	0	1,000	0.0%	0	
会議費	240,400	100,000	240.4%	80,400	常任幹事会（２回）開催費用
ホームページ管理費	227,664	230,000	99.0%	220,734	ホームページ運用・保守他
予備費	0	120,000	0.0%	0	
単年度小計	8,747,698	9,809,000	89.2%	6,665,750	(※1)
次期繰越金	14,499,663	13,420,000	108.0%	14,723,000	
特別会計へ繰り出し	0	0	0.0%	0	
合計	**23,247,361**	**23,229,000**	100.1%	**21,388,750**	

(※1) 2015年度単年度収入(8,524,361円）から2015年度単年度支出(8,747,698円)を引いた収支差額は223,337円の支出超過となる。

＜単年度収支差引＞

単年度収入	単年度支出	収支差
8,524,361	8,747,698	**▲223,337**

＜特別会計＞

（経営学部創設50周年・経営学部校友会設立10周年記念事業）

収入	支出	合計
5,500,000	0	**5,500,000**

2016年3月31日　経営学部校友会　資産内訳

【資産内訳】

金融機関名	種類	口座番号	金額	計
京都中央信用金庫 高槻駅前支店	普通預金	**********	4,415,505	
	定期預金	**********	5,000,000	
	定期預金	**********	10,000,000	19,415,505
ゆうちょ銀行	振替口座	**********	584,158	584,158
預金・定期　計				19,999,663
現金			0	0
合計				19,999,663

次期繰越金	19,999,663	特別会計「経営学部創設50周年・経営学部校友会設立10周年記念事業」の550万円を含む。

監 査 報 告 書

立命館大学経営学部校友会
　　会長　奥田　直幸　殿

立命館大学経営学部校友会の 2015 年度（2015 年 4 月 1 日から 2016 年 3 月 31 日まで）の会計報告について監査を行った。

監査の結果、証憑の整理、帳簿記録及び資産の管理は適切に行われており、収支報告書は 2015 年 4 月 1 日から 2016 年 3 月 31 日までの収支状況と、2016 年 3 月 31 日現在の財政状態を正しく表示するものであることを確認した。

2016 年　6 月 21 日

会計監査委員　安本　勝二　印

会計監査委員　近藤　宏一　印

2016年－2017年

立命館大学経営学部校友会役員体制(案)

（敬称略）
（※下線は2016年度新任）

【会長】
奥田　直幸　（1975年卒）

【副会長】
尼川　惠一　（1967年卒）　石崎　祥之（1985年卒）　奥村　陽一　（1983年卒）
小岸　弘和　（1986年卒）　中川　武司（1975年卒）　西形　方良　（1986年卒）
松村　勝弘　（1967年卒）

【幹　事】
＜学内幹事＞
猪熊　兼知　（1995年卒）　小沢　道紀　（1997年卒）　佐野　芳尚　（1998年卒）
種子田　穣　（1983年卒）　玉井　弘美　（1999年卒）　徳田　昭雄　（1994年卒）
村上　吉胤　（1989年卒）

＜学外幹事＞
芦田　聖子　（1999年卒）　伊吹　正弘（1974年卒）　内山　椋太　（2013年卒）
岡田　正昭　（1975年卒）　岡本　幸子（2004年卒）　垣立　昌寛　（1988年卒）
梶浦　明子　（1999年卒）　亀川　知佳（2001年卒）　川上　いずみ（2000年卒）
木村　厚二郎（1990年卒）　久貝　哲也（2004年卒）　近藤　裕彦　（1984年卒）
坂本　世津夫（1978年卒）　漣　千帆（2009年卒）　佐藤　慎一　（2007年卒）
庄山　由多加（2002年卒）　関　知子（2007年卒）　田中　智子　（1992年卒）
団野　修　（1999年卒）　調子　元信（1985年卒）　西脇　宏　（1988年卒）
福島　博　（1982年卒）　福田　健一（1991年卒）　程野　高行　（2001年卒）
松田　直樹　（2002年卒）　山田　康治（1995年卒）

【事務幹事】
真田　睦浩　（経営学部事務長）

【会計監査】
安本　勝二　（1966年卒）　近藤　宏一（1989年卒）

【顧　問】
栃本　吉之　稲岡　典彦（1965年卒・前校友会会長）
田中　照純（元経営学部長）　安藤　哲生（元経営学部長）　千代田邦夫（元経営学部長）
橋本　輝彦（元経営学部長）　齋藤　雅通（元経営学部長）　中西　一正（前経営学部長）
池田　伸　（経営学部長）

以上

※　顧問を除く役員の任期は、規約にもとづき2018年度開催の総会まで。

2016 年度　経営学部校友会活動方針

Ⅰ．基本事業

経営学部校友会は 2002 年に発足して以降、次の 5 つを活動方針の柱として取り組んできた。第 1 にセミナーや講演会、シンポジウム等の開催、会報「ACROSS」の発行による経営学振興と校友間交流の推進、第 2 にゼミ等の校友間ネットワーク強化の支援、第 3 に在学生・在学院生の勉学、研究、就職・進路に関する支援、第 4 にホームページ等を活用しての事業報告、第 5 に未入会校友への積極的な入会の呼び掛けである。

2016 年度も、2 年目を迎えた経営学部・経営学研究科の大阪いばらきキャンパス(OIC)での更なる飛躍と発展を期して、経営学部校友会活動の充実を図る。

Ⅱ．セミナー・講演会を引き続き開催し経営学振興と校友間交流を推進

経営学部校友会設立当初から目的としている、会員の親睦交流と相互扶助、母校立命館大学ならびに経営学部・経営学研究科の発展に寄与することを基本として活動する。

経営学振興事業としてのセミナーについては、引き続き東京・京都・大阪の３ヶ所で開催する。また、衣笠キャンパスにて学生時代を過ごされた多くの校友の方々のご要望を受け、初めて総会・講演会を衣笠キャンパスにて開催する。

１．講演会

日　時：2016 年 6 月 25 日(土)　11：00～12：00
場　所：立命館大学　衣笠キャンパス　創思館カンファレンスルーム
タイトル：『観光は日本を真に豊かにするのか！？』
講　　師：門川 大作 京都市長

２．経営学振興事業セミナーと交流懇親会

9 月 3 日(土)　東京：立命館大学 東京キャンパス
『ヘッドハンティングの舞台裏～ 転職市場で求められる人材とは～』
板敷 光一朗 氏
（シーディエスアイ株式会社 西日本統括　マネージング・コンサルタント）
11 月 6 日(日)　京都：京都ガーデンパレス
2 月 19 日(日)　大阪：ホテルグランヴィア大阪

Ⅲ．校友間ネットワークを強化する事業を支援

卒業後の校友間ネットワーク形成、ゼミ・クラス単位での同窓会開催支援などを引き続き強化する。

１．ゼミ別の懇親交流だけでなく、ゼミという垣根を越えたクラスやグループの懇親交流や教員との交流を促進
２．総会・講演会やセミナー等との各ゼミ同窓会の同日開催の働きかけ
３．経営学部校友会ホームページ、Facebook、メールマガジンの活用による広報
４．立命館大学校友会機関誌「りつめい」の同封サービスを活用した各種案内の促進
５．経営学部教授会でのゼミ・クラス同窓会支援制度の広報

Ⅳ．在学生・在学院生の勉学、研究、就職・進路に関する支援の推進

引き続き在学生・在学院生への援助・交流事業を継続する。
具体的には、「公認会計士試験合格者の奨励」「学部生の各種外国語講座の受講料補助」「大学院生の国外での研究活動支援」「研究叢書出版助成」を行う。

Ⅴ．経営学部校友会機関誌の発行とホームページの充実による事業強化

4 万人を越える経営学部卒業生に対して、経営学部校友会活動への活動参加を推進するため、以下の取組みを継続して行う。

1．経営学部校友会機関誌「ACROSS」に、会員状況や活動報告、また「ACROSS（速報版）」の情報等を掲載し、内容の更なる充実を図る。
2．経営学部校友会ホームページ、Facebook を積極的に活用して、現役学生を含む若年層校友とのつながりの強化をはかる。そのために、卒業時に新校友に対して各情報の登録を促すなど、在学中から経営学部校友会を身近なものとして位置づけ、継続的なつながりを保つ工夫を行う。
3．経営学部校友会のホームページ、Facebook、メールマガジンを通じて、セミナー等の活動内容や ACROSS の掲載内容等の情報提供を行う。
4．経営学部校友会の情報を立命館大学校友会の HP に掲載するなど、積極的に立命館大学校友会との連携を図り、経営学部校友の各事業への参加を促進する。

Ⅵ．経営学部大阪いばらきキャンパス新展開

経営学部の大阪いばらきキャンパスでの展開に際して、立命館大学ならびに経営学部の発展と、学生の成長支援のために積極的に協力する。
具体的には、「経営学部創設 50 周年・経営学部校友会設立 10 周年記念事業 」の一環として昨年度開講した経営学部校友会寄附講座「特殊講義（キャリア形成論）」を、2016 年度も継続して開講する。

Ⅶ．経営学部の校友、学生、院生、教員が中心となって活動する諸団体との連携

経営学部の校友、学生、院生、教員が中心となって開催される経営学振興に資する各種企画等に対し、共催、協賛、後援等の共同の取り組みを行い、経営学振興、校友間交流を推進するとともに、経営学部校友会ネットワークの拡大をはかる。

Ⅷ．その他

拡大していく会員数から発生する広報経費増加の課題も念頭におき、立命館大学校友会機関誌「りつめい」の同封サービスの積極的活用、会員に対する各種案内のペーパレス化や ACROSS の配布方法についての検討・見直しを行い、引き続き効率的な予算運営、財政基盤の強化に努める。

以上

経営学部校友会への共催、協賛、後援の依頼の取り扱いについて

経営学部校友会は、その前身の経営学振興会の理念と目的を引き継ぎ、会員の親睦交流と相互扶助、母校ならびに経営学部・経営学研究科の発展に寄与することを目的とし、毎年度講演会やセミナーなど経営学振興事業を展開し、また学生・院生の勉学、研究の支援や経営学振興に関する校友会事業を行ってきた。

これら経営学部校友会のこれまでの活動実績を受けて、今後、学生や院生または経営学部の教員や校友の各種団体が開催する経営学振興に関わる企画等について、経営学部校友会に対して共催、協賛、後援を求められることが考えられる。

今後、このような依頼については以下にて取り扱うこととする。

１．「共催」「協賛」「後援」について

（１）「共催」とは、本会を含む複数の団体が共同で主体となり、各企画・開催を実施することをいう。開催費等の費用負担を伴う場合がある。

（２）「協賛」とは、本会が依頼元の開催する企画に対し、その趣旨に賛同し、応援、援助することをいう。「後援」と同義であるが、「後援」に比べ本会への関与が大きく、協賛金等の費用負担を伴う場合がある。

（３）「後援」とは、「協賛」と同じく本会が依頼元の開催する企画に対し、その趣旨に賛同し応援、援助することをいうが、協賛金等の費用負担は伴わない。経営学部校友会のツールを用い、広報等の協力などを行う場合がある。

２．「共催」「協賛」「後援」の実施の判断、適否の基準について

（１）　対象となる事業が、経営学部校友会の目的である、会員の親睦と相互扶助をはかるとともに、母校ならびに経営学部・経営学研究科の発展に寄与するものであることを基準として、事案ごとに判断する。

（２）　常任幹事会の下に「審議委員会」をおき、各依頼に対する適否を審議し、会長が承認する。なお「審議委員会」の審議はＥメール等を利用した審議も可とする。

３．費用負担額について

「協賛」における費用負担については、本会予算の許容可能な範囲内において、当面は１件あたり１０万円を上限として、提出された当該企画の事業計画、資金調達計画等に基づき総合的に判断する。

４、申請手続きについて

依頼団体は所定の申請用紙を原則として開催の６ヶ月前までに経営学部校友会事務局に提出する。

以上

【経営学部校友会】　2016年度予算

（2016年4月1日～2017年3月31日）

＜収入の部＞　(円)

科目	16年度予算	15年度執行	15年度予算	備考
会費収入	8,170,000	8,260,000	8,190,000	
2016年3月卒業生	7,870,000	7,890,000	7,890,000	787人×@10000
既卒者新規入会	300,000	370,000	300,000	30人×@10000
事業収入	300,000	246,000	300,000	
セミナー等懇親会	300,000	246,000	300,000	懇親交流会参加費4回分
利息収入	15,000	18,361	15,000	預金利息
雑収入	1,000	0	1,000	
（単年度小計）	8,486,000	8,524,361	8,506,000	（※1）
繰越金	14,499,663	14,723,000	14,723,000	
合計	22,985,663	23,247,361	23,229,000	

＜支出の部＞　(円)

科目	16年度予算	15年度執行	15年度予算	備考
校友会事業費	2,700,000	2,109,800	2,900,000	
ゼミ同窓会開催支援	1,600,000	1,655,000	1,600,000	
各種外国語講座受講料補助	200,000	254,800	200,000	
公認会計士試験合格奨励	300,000	200,000	500,000	
国外研究活動補助	300,000	0	300,000	
出版助成	300,000	0	300,000	
セミナー・総会開催費	4,106,000	4,139,634	4,212,000	
講師謝金	280,000	379,685	280,000	講師謝礼4人分
人件費	30,000	36,691	1,000	キャンパスナビゲーター等要員代
会場使用料　（会場費）	50,000	41,963	400,000	会場使用料2回分
（懇親会費用）	950,000	836,958	1,000,000	
印刷費	600,000	589,165	400,000	案内ビラ・総会議案書外注
郵送費	2,000,000	2,029,982	2,000,000	セミナー開催案内、ACROSS同封送料6回分
運搬費	20,000	5,808	20,000	パソコン等備品送料4回分
交通費	150,000	193,330	100,000	事務局要員交通費他
会議費	25,000	26,052	10,000	幹事会昼食代として
消耗品費	1,000	0	1,000	
ACROSS発行費	1,723,000	1,314,667	1,682,000	
印刷費	1,600,000	1,231,189	1,600,000	印刷費34・35・36号分
委託費	70,000	32,670	70,000	インタビューテープ起こし2回分
会議費	1,000	4,848	1,000	
交通費	50,000	43,020	10,000	
人件費	1,000	0	0	名目上、計上
その他	1,000	2,940	1,000	

科目	16年度予算	15年度執行	15年度予算	備考
事務局費	483,000	715,533	565,000	
事務局人件費	1,000	0	1,000	学生アルバイト
郵送費	30,000	59,531	10,000	連絡用切手
印刷費	320,000	481,680	500,000	校友会名入り封筒
事務消耗品費	30,000	60,334	10,000	セミナー開催案内印刷用紙
交通費	1,000	0	1,000	
雑費	50,000	62,904	2,000	残高証明発行手数料、校友会記念ボールペン作成費用
振込手数料	50,000	51,084	40,000	支払時の振込手数料
その他	1,000	0	1,000	
会議費	100,000	240,400	100,000	常任幹事会、打ち合わせ食事代他
ホームページ管理費	230,000	227,664	230,000	ホームページ運用・保守他
予備費	500,000	0	120,000	
（単年度小計）	9,842,000	8,747,698	9,809,000	(※1)
次期繰越	13,143,663	14,499,663	13,420,000	
特別会計へ繰り出し	0	0	0	
合計	22,985,663	23,247,361	23,229,000	

※1	講演会・セミナー等の事業をはじめとする各種校友会事業については、昨年同様の活動を行うための予算を計上した。よって今年度も単年度で1,356,000円の支出超過となる見込みである。 早期に会員校友への各種案内方法の変更（ペーパレス化）を実施し、郵送費、印刷費の削減に努め安定した財政基盤の確立をはかっていく。

＜特別会計＞

「経営学部創設50周年・経営学部校友会設立10周年記念事業 特別会計」は、2014年度に2015～2017年度の寄附講座開設費用として4,500,000円を支出した。残額については2016年度も引き続き「特別会計」として管理する。

2015年度繰越金	5,500,000

「学生・院生への支援事業」の審査委員について

2016 年度経営学部校友会「学生・院生への支援事業」審査委員に、下記の者を委嘱する。

記

奥村　陽一氏（副会長）
松村　勝弘氏（副会長）
小沢　道紀氏（幹事）

以上

参考資料

１．立命館大学経営学部校友会『ゼミ・クラス同窓会開催援助制度』について
２．立命館大学経営学部校友会『外国語講座受講料補助』について
３．立命館大学経営学部校友会『公認会計士試験合格奨励制度』について
４．立命館大学経営学部校友会『国外研究活動奨励助成』について
５．立命館大学経営学部校友会『出版（研究叢書刊行）助成』について
６．立命館大学経営学部校友会規約

参考

立命館大学経営学部校友会『ゼミ・クラス同窓会開催援助制度』について

2016年4月　立命館大学経営学部校友会

立命館大学経営学部校友会事業の一つとして、卒業後の校友間のネットワーク形成を目的に、「ゼミ・クラス単位での同窓会」「ゼミの枠を超えた経営学部校友の懇親交流」に対して開催援助について、以下の通り要項を定める。

１．目的

卒業後の校友間の交流をより活性化し、「ゼミ単位」、「ゼミという垣根を越えた懇親交流」などについて促進を促す。

２．対象

経営学部卒業生を中心としたゼミ・クラス同窓会。

３．援助額

①1ゼミ同窓会開催援助額の上限は、次の通りとする。

1人につき3,000円で、60,000円を上限とし、教員が参加した場合は10,000円をプラスする。

②同一ゼミの開催援助は、各年度で2回までとする。

③参加者が、複数学年に跨る場合は学年毎に１ゼミ・クラスと見なす。

４．申請

①ゼミ同窓会開催までに、「ゼミ同窓会開催届け」を経営学部校友会事務局まで提出。

②ゼミ同窓会開催後、「ゼミ同窓会援助金申請書」を経営学部校友会事務局に提出。

以上

立命館大学経営学部校友会『外国語講座受講料補助』について

2016年4月　立命館大学経営学部校友会

立命館大学経営学部校友会事業の一つとして、経営学部教育に関連する各種外国語講座の受講を促進するための受講料補助について、以下の通り要項を定める。

１．目的

①高度な外国語運用能力を身に付け、将来は海外を舞台に活躍する人材を養成すること

②経営学部で学修した外国語を、留学・海外実習、専門外国語の学修、就職等に生かすこと

２．対象講座

当該年度に立命館大学 CLA(言語習得センター)と孔子学院が学内で開講した講座

① TOEFL®講座

② 英会話講座

③ Tutorial English Class

④ 初修外国語講座

⑤ 各中国語講座

３．対象者

経営学部国際プログラム委員会において選考し、経営学部校友会に推薦された経営学部学生（１回生～４回生）

４．人数

年間　30名

前期　25名　　※前期の推薦者が補助枠を下回る場合は、後期に残り枠を繰り越す

後期　 5名

５．補助額

１人　上限　15,000円　在学中１回のみ。

６．校友会への報告

校友会総会で報告する

以上

立命館大学経営学部校友会『公認会計士試験合格奨励制度』について

2016年4月　立命館大学経営学部校友会

立命館大学経営学部校友会事業の一つとして、経営学部における公認会計士試験合格者の更なる飛躍を目指した奨励制度として、以下の通り要項を定める。

１．申請資格

①次のいづれかに該当し、当該年度の公認会計士試験（論文式試験）合格者。

(1) 立命館大学経営学部学生

(2) 立命館大学経営学部出身の現役の立命館大学大学院経営学研究科生

(3) 立命館大学経営学部出身の現役の立命館大学大学院経営管理研究科生

②経営学部校友会終身会費を納入済み、もしくは納入の予定の者に限る。

２．申請

①所定の申請書類および合格を証明する書面（写し）を、経営学部校友会長まで提出すること。

②申請締切は、2017年1月16日とする。

３．奨励額

1人　50,000円とする。

４．その他

校友会総会で報告する。

以上

立命館大学経営学部校友会『国外研究活動奨励助成』について

2016年4月　立命館大学経営学部校友会

立命館大学経営学部校友会事業の一つとして、在学中の院生の研究奨励を行うため、調査活動等の助成について、以下の通り要項を定める。

１．目的と対象

①大学院在学中の院生の研究奨励を目的とする。

②国外での研究・調査活動のための渡航費・滞在費の一部を助成する。

③1ヶ月以上3ヶ月未満を短期とし、3ヶ月以上を長期とする。

２．申請資格

①立命館大学大学院経営学研究科博士課程後期課程に在学中である者。

②国外（留学生の場合は、母国の出身地・出身省を除く）での研究・調査活動のための滞在期間が、継続して1ヶ月以上であること。

③終了後は、活動報告書（様式自由）を提出すること。

④過去に本研究奨励の助成を受けた者は、申請できない。

⑤経営学部校友会終身会費を納入済み、もしくは納入の予定の者に限る。

３．申請締切

申請締切は、当該年度の7月末を締め切りとする。

４．申請と審査

①所定の申請書類を、経営学部校友会長まで提出すること。

②校友会総会にて選出する審査委員会で審査する。

③審査結果は、校友会総会で報告する。

５．助成額

①長期は1人30万円を、短期は20万円を上限とする。

②助成は、長期・短期を含めて当該年度3人以内とする。

以上

立命館大学経営学部校友会『出版（研究叢書刊行）助成』について

2016年4月　経営学部校友会

立命館大学経営学部校友会は、経営学振興事業の一つとして、研究奨励のための出版助成について、以下の通り要項を定める。

１．目的と対象

①経営学部校友である研究者の研究成果を刊行し、世に問う出版活動を促進するため助成する。

②テキストのような入門書・概説書などは助成の対象外とするが、貴重な文献の翻訳書や資料等の刊行は助成の対象とする。

２．申請の要件

①立命館大学大学院経営学研究科博士課程後期課程に在学中もしくは同修了（または満期退学）後、3ヶ年以内の者。

②申請時にほぼ原稿が完成していること。

③単著であること。

④過去に本刊行助成に採用された者は申請できない。

⑤申請時に、出版経費の見積書を提出すること。

⑥経営学部校友会終身会費を納入済み、もしくは納入の予定の者に限る。

３．申請と審査

①所定の申請書類を、経営学部校友会長まで提出すること。

②申請締切は、当該年度9月末とする。

③校友会総会にて選出する審査委員会で審査する。

④審査結果は、経営学部校友会総会で報告する。

⑤当該年度に採用され、諸般の理由で年度内に刊行出来ない場合は、6ヶ月を限度に繰り延べ出来るものとする。

４．著者の義務

①出版物については、外部奨学財団やその他の団体に応募して、評価（賞）をうけることを原則とする。（ただし、応募することを前提に入賞をめざすことであり、入賞しなければ助成しないということではない）

②出版物の「はじめに」または「おわりに」など、適当な個所に「立命館大学経営学部校友会研究叢書」であることを明記する。

③出版社の選定、出版部数などは全て著者と出版社との間の契約として行うこと。

④出版物は1部を、経営学部校友会に提出すること。

⑤出版社に対する経費、献本送料など支払い諸経費の領収書（写し）を経営学部校友会に提出すること。

５．助成額と人数

①助成は、当該年度2人までとする。

②助成額は、1人300,000円を限度とする。

以上

立命館大学経営学部校友会規約

（名称）
第1条
本会は、立命館大学経営学部校友会と称する。

（事務所）
第2条
本会は、その事務所を立命館大学経営学部事務室内に置く。

（目的）
第3条
本会は、会員の親睦と相互扶助をはかるとともに、立命館大学校友会の活動と連携しつつ、母校ならびに経営学部・経営学研究科の発展に寄与することを目的とする。

（事業）
第4条
本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。
(1)会員相互の交流・親睦をはかるための講演会、講座、その他の文化的活動と親睦会の開催。
(2)会員相互、母校ならびに経営学部・経営学研究科との連絡のための会報の発行とホームページの整備。
(3)広く社会に開かれた経営学振興事業の継承と発展。
(4)在学生の支援ならびに交流事業。
(5)その他、幹事会が適当と認めた事業。

（会員）
第5条
本会の会員は一般会員（個人）と賛助会員（団体又は法人）からなる。
(1)立命館大学経営学部の卒業者ならびに同大学大学院経営学研究科（各課程）の修了者または単位取得退学者。但し、学部ならびに研究科の中退者であっても、会員の推薦があり幹事会の承認を得た者は、会員となることができる。
なお、「卒業者」とは、立命館大学経営学部の前身となる立命館大学経済学部経営学科の卒業者を含む。
(2)立命館大学経営学部または大学院経営学研究科に所属する教員または教員であった者。
(3)立命館大学文理総合インスティテュートの卒業者で経営学部卒業者でない者のうち、幹事会の認めた者。
(4)その他、幹事会が一般会員資格を授与することが適当であると認めた者。
(5)本会の目的に賛同し、幹事会の承認を得た者、団体または法人は賛助会員となることができる。

（役員）
第6条
(1)本会は次の役員を置く
1. 会長　1名
2. 副会長　若干名
3. 幹事　10名以上
4. 事務幹事　1名
5. 会計監査委員　2名
6. 顧問　若干名

(2)会長は、本会を代表し、会務を統括する。
(3)副会長は、会長を補佐し、会長に支障あるときは、その職務を代行する。
(4)幹事は、会員中より選出され、幹事会を構成する。
(5)事務幹事は、経営学部事務長とする。事務幹事は、本会の事務および日常業務についてその執行を補佐する。
(6)会計監査委員は、本会の会計を監査し、その適否を総会に報告しなければならない。
(7)顧問は、本会の活動に関し随時助言を行い、その活動を援助する。
(8)本会は、名誉会長を置くことができる。

(総会)
第7条
(1)総会は、毎年開催することを原則とする。
(2)総会の開催は、幹事会が決定する。
(3)総会は、事業方針の承認、計算書類の承認、その他重要事項を決定する。
(4)総会の招集及び総会の議長は、会長が行う。会長に支障ある場合は、副会長がこれを行う。

(会長・副会長)
第8条
(1)会長および副会長は総会において選出する。
(2)会長および副会長の任期は、2 年とする。再任は、妨げない。

(幹事)
第9条
(1)幹事は、総会において 10 名以上を選出する。
(2)幹事は、学内幹事と学外幹事とする。
(3)幹事の任期は 2 年とする。但し、再任を妨げない。

(会計監査委員)
第10条
(1)会計監査委員は、総会において 2 名を選出する。
(2)会計監査委員の任期は、2 年とする。但し、再任を妨げない。
(3)会計監査委員は、幹事会に出席するものとする。

(顧問)
第11条
(1)顧問は、次の者とする。
1. 経営学部長および経営学部長であった者。
2. 幹事会がとくに必要と認めて選任した者
(2)顧問は、幹事会に出席することができる。

(常任幹事会)
第12条
(1)会長、副会長、学内幹事および事務幹事をもって常任幹事会を構成し、会長がこれを招集する。
(2)常任幹事会は、幹事会に提案する事項の審議、幹事会の決定に基づく日常的な業務の執行を行う。
(3)常任幹事会は、審議事項の内容によって会計監査委員の出席を求めることができる。

（幹事会）
第13条
(1)幹事会は、会長、副会長、幹事および事務幹事をもって構成し、会長がこれを招集する。
(2)幹事会は、本会の業務執行を決定する。
(3)幹事会の下に事務局を置く。
(4)事務局は、幹事会にあたって必要な事務を行う。

（会費）
第14条
本会の会費は次のとおりとする。
(1)一般会員(第5条(1),(2),(3)に該当する者) 終身会費 1万円
(2)賛助会員(第5条(4)に該当する者) 幹事会の決定する額

（会計年度）
第15条
本会の会計年度は、毎年4月1日より翌年3月末日までとする。

（規約の変更）
第16条
本会の規約の変更は、幹事会の発議により、総会の承認を得ることを要する。

付 則
本規約は、2002年11月30日より施行する。
附 則(2006年6月4日第3回総会にて、事務所、役員(事務幹事)、会計年度の変更承認)
この改正は2006年4月1日から施行する。
附 則(2008年6月14日第4回総会にて、役員、総会、常任幹事会、会計監査委員、顧問の変更)
この改正は2008年6月1日から施行する。
附 則(2014年6月21日第10回総会にて、事務所の所在地の記載方法の変更、卒業者の範囲の明記、常任幹事会の構成の明記、幹事の構成の明記、幹事会の構成の明記、字句修正に伴う一部変更)
この改正は2014年6月21日から施行する。

以上

MEMO

Ritsumeikan
経営学部 校友会